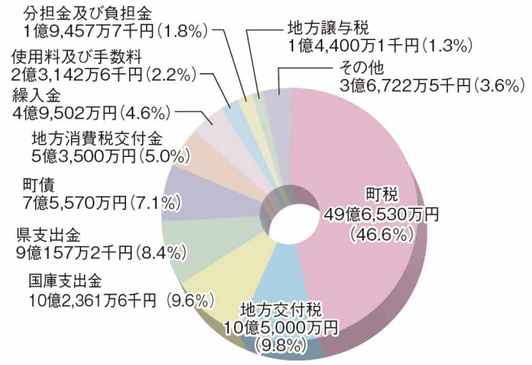
寄居町の施策と予算

花輪町長　平成29年度の
行財政運営に関する所信表明から

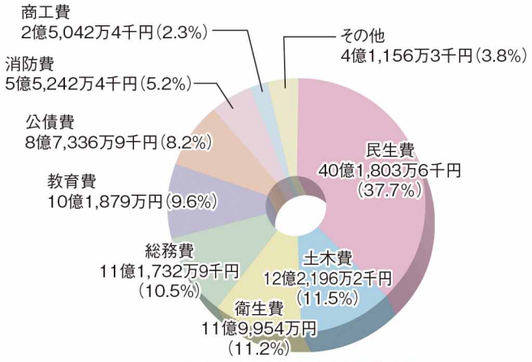
平成29年度当初予算額

一般会計	106億6,343万7千円	前年度比　7.9%減
国民健康保険特別会計	50億4,510万6千円	前年度比　0.3%増
後期高齢者医療特別会計	3億4,780万6千円	前年度比　4.4%増
下水道事業特別会計	5億4,622万円	前年度比　6.8%減
農業集落排水事業特別会計	1億157万7千円	前年度比　4.6%増
水道事業会計	16億7,948万1千円	前年度比 15.8%増
合　計	183億8,362万7千円	前年度比　3.6%減

一般会計　歳入・歳出の内訳



歳入　106億6,343万7千円



歳出　106億6,343万7千円

問い合わせ／財務課（☎581・2121内線321）へ。

今年度の予算は、一般会計が106億6,343万7千円（前年度比7.9%減）、その他5つの会計を含めた全体では、183億8,362万7千円（前年度比3.6%減）の予算となりました。

ここでは、町議会平成29年第1回定例会（3月議会）の冒頭で行われた花輪町長の平成29年度の行財政運営に関する所信表明から、町の主要な施策と予算の概要をお知らせします。

基本方針

わが国の景気は、政府の経済財政政策の下、企業収益が高水準で推移し、雇用・所得環境が改善する一方で、人口減少、少子高齢化による潜在成長力の低迷といった要因を背景に、民間投資や個人消費は力強さを欠いた状況にあります。

こうした中、地方自治体には、住民に安心・安全な暮らしを提供するとともに、豊かな地域社会を維持することが求められており、その仕組みづくりとして、人口減少や地域の活力向上に取り組む地方創生の動きが、各地で本格化しようとしております。

本町においても、人口減少の克服と地方創生は喫緊の行政課題であります。

その現状を踏まえ、私は就任後速やかに、まちづくりの基本理念を「寄居創生」と定め、まちづくりのあり方を根底から見直すとともに、議会や町民各層の意向も十分汲み上げながら、「教育」「女性の活躍」「健康長寿」の3つの視点に重きを置き、しっかりとした道筋を示しつつ、具体的な取組みを進めてきたところであります。

迎える新年度は、これら取組みを一層進化・充実させるとともに、新しい総合振興計画がスタートする、極めて重要な年度になると認識しております。

10年後の未来を見据えながら、「町民一人ひとりがいきいきと輝き、無限の可能性を引き出せるまち」、さらには、「町民の笑顔が大勢の人を呼び寄せ、活気と賑わいにあふれたまち」の実現に向け、目指す姿を「可能性∞笑顔満タン　寄居町」と定め、町民のみなさまとともに新たな時代を切り拓いてまいる所存であります。

また、基本構想においては、きめ細かなまちづくりを推進するため、5つの基本目標を定め、戦略的・体系的に施策展開を図っていくことといたしました。

誰もが経験したことのない人口減少社会が到来し、将来の予測が極めて困難な時代ではありますが、新たに策定した総合振興計画を柱に、新年度を「未来を創造するための新たな一歩を踏み出す年」として捉え、足元を見定めながらもスピード感を持って、時代や社会の大きな変化に対応してまいりたいと存じます。

以上の考え方に基づき、新年度の町政運営にあたっては、新たな総合振興計画を実行に移す初年度として、目標実現のための施策・事業を積極的に推進するとともに、引き続き3つの重点施策を掲げ、議員各位や町民のみなさまとも知恵を出し合いながら、すべての英知を結集して、力強くまちづくりを進めてまいる考えであります。

重点施策

総合振興計画の推進に合わせ、本町が抱える将来的な課題の克服のため、引き続き次の3つのテーマを重要課題として定めます。

①教育施策の充実強化
～次代を担う子どもたちの育成のため、教育施策の積極的な充実強化～

②女性の活躍推進
～結婚・出産支援・子育て環境の充実と、働きやすい環境の創出～

③健康長寿
～健康長寿県下ナンバー1を目指し、保健・福祉サービスを向上～

主要事業

夢と創造力にあふれ　未来を拓く人を育むまち

■英語教育推進事業（23,430千円）
ALTによる指導、英語検定費用の公費負担に加え、中学2・3年生を対象に英検対策講座を開講します。

■放課後サポートスクール事業（13,035千円）
「より・E土曜塾」「より・E放課後塾」の拡充に加え、中学3年生を対象とした「より・E春塾」を開講します。

■屋内運動場等非構造部材耐震対策事業（11,220千円）
児童・生徒の安全のため、避難所でもある屋内運動場の非構造部材に耐震対策を実施します。

■定住促進住宅補助事業（10,000千円）
移住・定住促進のため、転入する若い世代に対して住宅の新築・購入費用を補助します。

■国際交流推進事業（9,487千円）
ブータン王国五輪チームのキャンプ地決定に伴い、引き続き陸上教室の開催や各種イベントでのPR活動を推進します。

■小学校トイレ改修事業（4,852千円）
学校トイレの洋式化を順次行うため、改修工事の設計を行います。

■子育て支援交付金事業（4,600千円）
多子世帯の負担軽減を図るため、第2子・第3子への交付金をそれぞれ2万円・5万円に増額します。

■(仮称)男衾中学校建設準備検討委員会設置事業（365千円）
地元関係者などから組織し、建替えに向けた準備のため、建設の方向性等を検討します。

人が集まり活力に満ちた　賑わいあふれるまち

■川の国埼玉はつらつプロジェクト（92,355千円）
玉淀や雀宮公園、荒川沿岸に、賑わいと活気づくりのための水辺空間を一体的に整備します。

■有害鳥獣駆除事業（4,607千円）
有害鳥獣からの被害を抑制するため、地元猟友会と連携し、通年で駆除事業を実施します。

■農林業振興ビジョン策定事業（4,500千円）
社会情勢に適合した持続可能な農林業の発展を目指し、計画的な振興を図るための計画を策定します。

■中心市街地活性化事業（3,934千円）
内閣府認定を目指す年度として、各府省との協議や調整を進め、基本計画を策定します。

■(仮称)未来を拓く学校教育検討委員会設置事業（336千円）
小中一貫教育、学校施設の統合等、最適な教育環境の提供と効率的な学校施設の活用を検討します。

■ふるさと大使委嘱事業（156千円）
町の魅力についての発信力を高めるため、町ゆかりの著名人を委嘱します。

支えあいとふれあいのある　健康長寿のまち

■特定健康診査・疾病予防事業（45,334千円）
医療費適正化のため、特定健康診査受診率の向上を図るとともに、人間ドック検診等の各種事業を展開します。

■健康長寿促進事業（8,176千円）
プラス1000歩運動の最終年度として、無線LANを利用したデータ読み取り機を増設し、参加者の拡大を図ります。

■健康長寿計画策定事業（4,000千円）
健康寿命の延伸や健康格差の解消、健康を支える環境の整備など、総合的な推進方針を策定します。

■障害者計画・障害福祉計画策定事業（4,000千円）
『障害者総合支援法』等に基づき、各種施策展開や目標、サービス見込み量等を定めた計画を策定します。

■高齢者保健福祉計画策定事業（3,500千円）
高齢社会への対応のため、地域包括ケアシステムの構築や認知症対策等の事業計画を策定します。